

No.	質問者	内容	対応
1	長林会長	今までは今後の人口の推計や、一人当たりの排出量の変化といった統計資料や、科学の発展といったものも踏まえて廃棄物の減少量を推算していったが、23、24年度と平常時との違いや、避難区域の解除時期等について、多面的な検討を要するという点でよい。	ご意見のとおりであり、検討を進めていきたい。
2	石田委員	千t/年という単位はあまりなじみがない。一般の県民の方も見ることを考えると、わかりやすい表記を考えたほうがよい。	意見を参考に対応していきたい。
3	石田委員	目標値と実績値を比較して、低いほうが良い場合と高いほうが良い場合の両方がある。例えば、一つの表に目標値より高ければ良いものだけが入っていればどれだけ達成されているかわかりやすい。表記の仕方を工夫できれば、一般の方から見てわかりやすい資料になるのではないかと考える。	目標達成の状況については環境基本計画の表記等についても参考にし、わかりやすいようにしていきたい。
4	河津委員	計画の目標が達成していないとき、分析の中で以前の計画の根拠といったものを示してもらうことが必要になると思う。	意見を参考に対応していきたい。
5	河津委員	どこを基準にするのかが非常に重要である。また保管された廃棄物が次の年どうなるのか、最終的にどう処理されるのかわからないと数値的な動きというのは見えないのではないかと考える。	意見を参考に対応していきたい。
6	稲森委員	震災の影響について、どのような点を重点とするのか。放射性物質の問題が内容に入るとするが、全体構成がどうなるのか。	今後取りまとめる中で検討することとしたい。
7	稲森委員	火力発電所においてはIGCCのような効率的な新技術が県の電力事情に関わってくると思うが、そのような新技術等による火力発電所のあり方等についても考えられればよいのではないかと考える。	意見を参考に対応していきたい。
8	後藤委員	目標値をどのように考えるかという際に、ばいじんの量というのは県内で大きい割合を占めている。どのような数値を設定し、挙動を盛り込むのかが一つの課題になると思う。	電力や経済状況について震災の状況を踏まえた変化を見込んで、目標値に反映させていきたい。
9	後藤委員	全体の計画のタイトルについて、震災・原発事故に関係ないものをタイトルとするのかそれとも影響を踏まえたものにするのか。	目標のタイトルについては、具体的な案は現在持ち合わせていない。
10	菅野委員	県民の方にわかりやすく表現していかなければならない。注釈等を入れるなどして理解が高まるよう考えていただきたい。	意見を参考に対応していきたい。
11	後藤委員	環境基本計画では◎、○、△、×で達成率を示し、矢印で目指す方向を表現しているので参考にしてほしい。	意見を参考に対応していきたい。